

愛知県

東海中央F A支社

ホンダロジコム株式会社



ウェブサイト



モノだけでなく、ヒトの循環にも貢献し、社会課題を解決する



代表取締役社長 本多 敦

代表取締役社長	本多 敦
本社所在地	愛知県春日井市八田町5-16-6
主な事業内容	物流アウトソーシング事業、物流コンサルティング事業、物流開発事業
従業員数	1726人
健康保険組合名	全国健康保険協会愛知支部



【経営理念】

情報と物流技術を通じて、社会に貢献する企業づくりをめざします
顧客に信頼され、喜ばれる企業づくりをめざします
社員の幸せを願い、社員とともに成長する企業づくりをめざします

「どんどん好きのように」という社風から

今から6、7年前に春日井市のイベントで保険局の方から健康経営について話を聞きました。その話を当社の安全健康部門に「こんな話があるよ」と伝えた所、担当者のツボにハマったのかどんどん進めてくれました。



健康経営アドバイザーの社員さんとバシヤリ。

最初から担当者が積極的に推進してくれたのは、当社がそういう社風だからだという所が大きいと思います。社員が「いいな」と思ったことに対しては、「どんどんやってください。好きのようにやってください」というのが当社の社風。そのような体質があったからこそ、社員が自発的に推進をしてくれたのだと思います。

その表れとして、初めて認定を取った翌年から、担当部門から「社内で健康経営アドバイザーの資格取得の推進したい」と提案され、「どうぞどうぞ」と言った所、今では資格取得している社員が30名ほどになりました。

労働時間の適正化とワークライフバランス向上の推進

毎月一回、人材会議を行い、全従業員の残業チェックを10年以上行っております。4.5時間を超えている人がいないかの確認と、もし該当者がいた場合には、原因を追求。その結果、今年は4.5時間を超えている人は数人だけとなりました。今は、残業時間が3.0時間を超えるとアラームが鳴るような仕組みを取っております。

また、間接部門は社長と副社長を除いた全員がフリーアドレスにしました。仕事ができる場所を春日井オフィス、長久手オフィス、鶴舞オフィスにして、好きな所に出社していいということにし、更に在宅ワークもOKにしました。それに合わせて、服装規定も廃止しました。フリーアドレス化を行った結果、通勤時間の削減はもちろんのこと、気の合う同士が集まり、自然と社内で会話が生まれ、コミュニケーションが取りやすくなりました。

従業員間のコミュニケーション促進



きずなキャンプの風景

若手社員が入社後、同期と会う機会が中々なかったため、同期が集まる研修を作りました。入社3年次までの若手社員が年度末に集まり、「どんな一年を過ごしてきたか」「こんなことが大変だった」などをシェアし、お互いを知って褒め合う研修を行っています。

また、入社2年目の若手社員を対象とした「きずなキャンプ」という研修を行っています。平日の午前10時に、香嵐渓の一の谷に行き、薪割り・火起こしをして、しし鍋を食べたり、BBQをして、午後からは若手vs上司でモルック対決を行っております。

このようなコミュニケーションが取れるようになってきたのは、20年前から新卒採用時のインターンシップや合同説明会などに関わってきた積み重ねの結果だと思っております。それにより、入社前には既に全員の顔と性格が分かった上でコミュニケーションが取れるようになりました。

今後のビジョンについて

昨年度はプライト500の取得が叶いませんでした。不足していた箇所の一つに女性特有の健康課題への対応がありました。この点を取り組むにあたって、イベント出展や交流会の開催などで人の輪を広げることで、外部講師と繋がることができ、社内勉強会を実施できました。



SDGs活動の一つである「キクラゲ事業」

このように色々な人と繋がることで、世界が広がってきました。自分だけでは、ここまで来ていないと感じております。

なので、今度は私たちが【繋ぐ側】になって、物流だけでなく、人と人を繋ぎ、世の中の社会課題の解決に貢献したいと思います。